

第3回 吹田市総合計画策定委員会 議事要旨

1 日時

平成28年10月28日（金） 午後4時～5時30分

2 場所

吹田市役所 3階 研修室

3 出席者

別紙「出席状況一覧」のとおり

4 議事

(案件1) 将来人口の推計について (資料1)

(案件2) 基本構想 (素案) について

(1) 第4次総合計画の検討に係る各種資料について (資料2～4)

(2) 基本構想 (素案) について (資料5～7)

(案件3) 今後のスケジュールについて (資料8)

(案件4) 基本計画における地域別重点取組の考え方について (資料9)

5 配付資料

次第

資料1 吹田市第4次総合計画策定に係る人口推計について (案)
(平成28年10月28日)

資料2 吹田市第4次総合計画策定 課題検討集 (案)
(平成28年10月28日)

資料3 市民を対象とした各種意識調査の分析報告書 (案)
(平成28年10月28日)

資料4 吹田市第4次総合計画策定用資料 基礎データ集 (案)
(平成28年10月28日)

資料5 吹田市第4次総合計画 基本構想 (素案) (第3回策定委員会 検討用)
(平成28年10月28日)

資料6 作業部会等における検討経過

資料7 平成28年度 市民参画の取組状況について
(平成28年10月28日時点)

資料8 第4次総合計画策定までのスケジュール (案)【平成28年度～平成29年度】(H28.10.28)

資料9 第4次総合計画 基本計画における地域別重点取組について

参考 第2回総合計画策定委員会 (H28.8.8) の論点

6 議事内容

【案件1】 将来人口の推計について事務局より説明 (資料1)

委員： 資料1の9ページの高位推計、中位推計、低位推計の年齢3区分別人口のグラフについて、就学前の子どもの年齢別人口を詳しく示していただきたいが、その予定はあるか。

事務局： 計算上、5歳階級別で数値を出すことは可能。必要であれば、相談させていただく。

委員長： 本市における人口動態は、自然増加よりも社会増減の影響が非常に大きく、人口の予測が難しい。また、しばらく本市の人口は減少せず、国立社会保障・人口問題研究所の研究が示すような全国的な人口減少の潮流には当てはまらないのではないかという推計結果が出ている

と考えられる。人口増加を制御することなどは現実的でないし、推計結果について、推計人口の最大と最少で幅があることを念頭に置きながら総合計画策定を進めていくことが得策であろう。

【案件2、3】第4次総合計画の検討に係る各種資料、基本構想（素案）、市民参画の取組状況、及び今後のスケジュールについて事務局より説明（資料2～8）

委員： 資料2の34ページの「今後取り組むべき主な課題」や、資料6の4ページ「【6章】安全で魅力的なまちづくり」の項目に「コンパクトシティの視点を追加する」と記載されているが、その経緯を教えていただきたい。コンパクトシティと記載すると、吹田市内で分散している機能を集約しようとしていると誤解を与える可能性がある。

事務局： 立地適正化計画の策定を進めていることから、作業部会の中でこのような議論が出てきている。ただ、作業部会の中でも、一般的なコンパクトシティの概念が吹田市に当てはまるのか、という意見は頂いている。今後、立地適正化計画の進行を確認しながら、引き続き検討・整理していく。

委員： 本市ではコンパクトシティの概念は当てはまらないのではないかと考えている。一般的な意味でのコンパクトシティという言葉を使うと、まちづくりの大きな方向転換と捉えられかねないので、例えば「立地適正に応じたまちづくりを目指す」というような表現の方がいいとよいのではないかと考えている。

事務局： 誤解の無いように、修正したい。

副委員長： 第4次総合計画策定の取組は、今後もタイトなスケジュールが続く。また、作業部会が密に予定されている。自分が所属している部が所管する部会の状況を、十分に把握しておいて頂きたい。また、基本構想の記述においては、分かりやすい言葉選びをするなど、行政として考えて取り組んでいることをアピールできるような工夫をしていくこと。

委員長： 引き続き、PDCAのC（チェック）の部分をしっかり行っていただきたい。目標設定あるいは手法を工夫して、市民ニーズとずれのないようにすること。また、取組が弱いところはしっかりとしていくこと。

【案件4】基本計画における地域別重点取組の考え方について事務局より説明（資料9）

委員： 第4次総合計画における地域別重点取組は、第3次総合計画における地域別計画と同様のものとするのか。公共施設の最適化や立地適正化の取組を進めるに当たって、地域別重点取組の考え方と整合をとる必要があるのか確認したい。

事務局： あくまで地域別の重点取組を掲載するというものであり、ブロック別の公共施設の配置などの考え方を含む地域別計画という形で策定するということは予定していない。それぞれの個別計画においては、必要に応じて取組の内容に合わせた圏域設定をしていただくものと考えている。

事務局： 補足だが、住んでいる方にとっては、ブロック別の記載がわかりやすいというご意見を多々頂いており、尊重すべきだと考えている。地域別の特色など、索引のような形でお示ししていくということを考えている。

委員長： 地域の特性や課題を整理しつつ、柔軟性を持たせた地域別の取組を記載する必要がある。6

ブロックに分け、各ブロックに同じ数の施設を整備するような考え方は適切でなく、ブロックの枠組みにとらわれない考え方が必要である。一方で、第3次総合計画の見直しの時に、地域別の検討が十分になされていない、ということで議会から指摘をいただいたこともある。それぞれの取組を進めるに当たっては一律にブロックを捉えるのではなく柔軟に対応する必要がある一方で、各地域での状況は、人口流入が激しいとか、高齢化が進んでいるなど、様々であり、実情をしっかりと捉える必要がある。第3次総合計画におけるブロック別の地域別計画という枠組みとは異なるが、地域別の課題を整理したうえで、柔軟な枠組みにするというのが現時点での地域別重点取組の考え方である。地域別重点取組の検討過程においては、引き続き皆さんの意見をいただきながら進めていく。

委員長： 次回の策定委員会は、11月17日（木）を予定している。以上をもって、本日の会議を終了させていただく。

出席状況一覧

委員長	春藤副市長
副委員長	池田副市長
委員	米丸特命統括監[欠席]
	赤野水道事業管理者[欠席]
	梶谷教育長
	羽間危機管理監
	中江理事(危機管理担当)
	小西総務部長
	平田理事(人材育成・女性活躍担当)
	稲田行政経営部長
	川本理事(総合計画担当)
	中川理事(公共施設最適化担当)
	牧内税務部長
	高田市民部長
	木野内理事(市民自治推進担当)
	横山人権政策長
	中嶋都市魅力部長
	原山理事(シティプロモーション担当)[欠席]
	橋本児童部長
	後藤福祉部長
	平野理事(生活福祉担当)[欠席]
	乾健康医療部長
	石田理事(地域医療・保健施策担当)[欠席]
	今川環境部長
	上野都市計画部長
	野上理事(千里再生・都市デザイン担当)
	松本土木部長
	宮田下水道部長
	原田会計管理者
	村上消防長
	村上消防本部理事
	岡本水道部長
羽間学校教育部長	
服部教育委員会事務局理事	
木戸地域教育部長	
事務局	川本理事
	岡本参事
	霜竹主査
	中嶋主任
	船越主任
	桑野係員